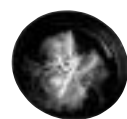


ソウルフードを食卓へ

郷土料理教室



11月13日(金)香我美市民館で、香我美町文化協会主催の「郷土料理教室」が開催されました。この教室は、会員同士の親睦と交流を深め、地場の野菜や魚などを使った料理を地域に広め「食育」につなげることを目的に、13人の会員が参加。R K C調理師学校の山下講師の丁寧な指導のもと、太刀魚のかいさま寿司や鯛のつみれ汁など5品を作りました。会長の別役博子さんは、「今回作った料理が、最近問題となっている食生活の乱れを見直すきっかけになれば」と話していました。



交響樂團がやってきた！

野市東小学校 本物の舞台芸術体験事業



11月10日(火)野市東小学校体育館で、大阪シンフォニカー交響樂團のコンサートが行われ、児童や保護者など約350人が生演奏の迫力を楽しみました。この事業は、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の一環。

64人編成の樂團が奏でる映画「スターウォーズ」の壮大なメインテーマや、6年生がリコーダーでエルガーの行進曲「威風堂々」第一番を共演したり、オーケストラでアレンジした学校の校歌を児童が合唱するなど、思い出に残る素晴らしい一日となりました。

いつまでも変わらぬ川を

第3回物部川川祭り



10月25日(日)物部川橋河川敷で、第3回物部川川祭りが開催されました。前日には会場周辺のごみ拾いをみんなで行之、きれいになった物部川に改めて感謝しながら当日を迎えました。

いざなぎ流神事の後、野市小学校の子どもたちによる開会宣言を皮切りに、昔遊びや御幣切りなどの体験、シカ肉の試食、ステージでは一江ウタカさんの「物部川の歌」が披露されるなど内容は盛りだくさん。一日中、物部川の水面に賑やかな声が響き渡っていました。



できたてホヤホヤうなぎ弁当！

「愛童園」でうなぎの実演試食会



10月31日(土)夜須町の児童養護施設「愛童園」で、蒲焼うなぎの実演があり、子どもや職員27人にうなぎ弁当がプレゼントされました。これは、高知県うなぎ販売協議会が、県産うなぎの販売促進と社会福祉活動の一環として今年から始めました。うなぎつかみを体験した子ども達は大騒ぎ。さばいたうなぎをきれいに洗うお手伝いなどをして、こんがり焼きあがった蒲焼をお腹いっぱい美味しくいただきました。北浜^{あかし}等会長は、「子ども達の笑顔は成功の証です」と満足そうでした。

役者も観客も大満足！

四国の地芝居 in 弁天座

▼特別出演した高知県民俗芸能ネットワーク協議会による「白浪五人男」



11月15日(日)弁天座で四国4県共同舞台芸術公演「四国の地芝居」が開催され、詰めかけた約230人の観客は、昔ながらの地芝居を堪能しました。これは「四国の地芝居高知県実行委員会」などが主催し、昨年の徳島県に続いて2回目。

県内の地芝居団体で構成される高知県民俗芸能ネットワーク協議会による「白浪五人男」を皮切りに、徳島県の「長通り座」、愛媛県から「川瀬歌舞伎保存会」、香川県からは、「農村歌舞伎祇園座保存会」、「とり」を務めた地元「土佐絵金歌舞伎伝承会」による5演目が公演され、それぞれの熱演に会場から大きな拍手がわきあがっていました。

今回初めて演じた四国3県の団体は一緒に、「会場と一体感が感じられる素晴らしい施設。今後も弁天座で公演ができれば」と充実感いっぱいの表情でした。



こりゃ〜太っちゅう

いやしの里農園サツマイモ収穫祭

11月8日(日)香我美町のみかんの里に隣接するいやしの里農園で、高齢者と子どもたちの交流を目的にイモ掘りが行われました。地元保育所・幼稚園・小学校の親子や民生委員、高齢者クラブなど約230人の参加者があり、子どもたちは「大きいねえ」「またミミズが出たあ」などと歓声を上げながら掘っていました。昼食は、ボランティアによるサツマイモご飯やイモの天ぷら、豚汁を味わい、夏に戻ったかのような汗ばむ日差しのもと、笑顔いっぱい収穫の一日を楽しみました。



いにしへの雰囲気 に酔いしれて

つちみかど 土御門上皇歌碑除幕式



11月3日(火)香我美町岸本の月見山で、土御門上皇歌碑除幕式が行われました。歌碑は、地元住民らの熱意により、広く寄付を募って建立。承久の乱で土佐に流された上皇が、月見山で月を眺めながら遠く離れた京都を偲んで詠んだ歌「かがみのや誰がいつはりの名のみして恋ふるみやこのかげもうつらず」が刻まれています。また、旧香我美町の町名の由来にもなっており、出席者は、月見山で上皇が歌を詠まれた当時を思い、感慨深い様子でした。